

面積:149,998平方キロ

(北海道の約2倍)(全米50州中25位)

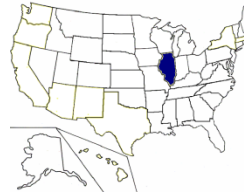
人口:12,719,141人(2025年国勢調査推計値)(全米6位)

(白人76%, 黒人15%, ヒスパニック19%, アジア7%)

(2025年国勢調査推計値)

州都: Springfield 愛称: Land of Lincoln

イリノイ州概要



令和8年3月現在
在シカゴ総領事館

政 治

【州政治】

1. 知事: J.B. プリツカー(J.B. Pritzker)(民)
2019年1月就任、現在2期目

2. 議会構成: 二院制

上院議席数 59 民主党40 共和党19
下院議席数118 民主党78 共和党40

3. 内政状況:

イリノイ州は、1992年以降大統領選挙では民主党候補が勝利している。他方、人口が集中するシカゴ市圏等都市部以外の広大な農業地帯は共和党支持が強い。

2018年知事選挙では、大富豪のプリツカー候補(民)が実業家のラウナー知事(共)に圧勝し知事に当選。2022年選挙でも再選された。2025年7月、翌年の知事選への立候補を表明。

2021年4月イリノイ州州議会は全米初となる公立校に於けるアジア系米国人の歴史教育義務化の法案を可決。2022年度から実施。

2022年中間選挙では、民主党が州上下院共に絶対多数を占め、民主党支持の傾向が一層強まっていた。ただ、2024年大統領選挙では10.6ポイント差をつけて民主党が勝利したものの、2020年のバイデン前大統領の勝利(17ポイント)よりも得票率を下げる結果となった。

なお、オバマ元大統領は2004年から2008年の間、イリノイ州選出の連邦上院議員を務めた。

本年中間選挙では、州知事が改選対象。

【連邦政治】

1. 大統領選挙人数: 19名

2. 2024年大統領選挙における勝利政党:
民主党(得票率54.4%)

3. 連邦上院議員

リチャード・ダービン(Richard J. Durbin)(民)

※上院議員引退を発表済み。

タミー・ダックワース(Tammy Duckworth)(民)

4. 連邦下院議員(議席数17名)

民主党14名 共和党3名

経 済

【州経済】

1. 主要産業: 金融、製造業(化学・食料)、卸売業
・農業: 穀物(トウモロコシ、大豆)、畜産(豚)^{・1}

2. GDP: 12,164億ドル(2025年)^{・1}

3. 1人当たり個人所得: 78,047ドル(2025年)^{・1}

4. 失業率: 4.6%(2025年12月)^{・2}

5. 輸出額: 79,955百万ドル(2025年)^{・3}

6. 主要輸出品目: 化学製品、一般機械、電算電子機器、輸送用機器、加工食品^{・3}

7. 輸出相手国(2025年):

カナダ(22%)、メキシコ(15%)、オーストラリア(5%)、ドイツ(5%)、オランダ(5%)、英国(5%)、ブラジル(4%)、中国(4%)、スイス(3%)、日本は(3%)で10位^{・3}

8. 財政: (2023年度)^{・3}

歳入: 111,409百万ドル

歳出: 114,528百万ドル

債務残高: 42,487百万ドル

9. 経済状況

全米第3の都市シカゴがあり、ウォルグリーン、ユナイテッド航空、マクドナルド、アボット、クラフト等多くの大企業が本社を置いている。製造業の拠点であるとともに世界最大級の先物取引所であるCMEグループが存在するなど金融・保険にも強みがある。また大豆生産では全米第1位^{・4}、トウモロコシは第2位であり^{・4}、トウモロコシベースのエタノール生産も盛ん。

【対日経済】

1. 対日輸入額: 7,142百万ドル(2025年)^{・3}

2. 主要輸入品目: 一般機械、化学製品、電算電子機器、電気機器、輸送用機器^{・3}

3. 対日輸出額: 2,338百万ドル(2025年)^{・3}

4. 主要輸出品目: 電算電子機器、化学製品、一般機械、輸送用機器、加工食品^{・3}

5. 日系企業の進出数/雇用数:

656事業所/4万6,379人(2025年)^{・5}

6. 州駐日事務所あり(東京都)

出典: 1: Bureau of Economic Analysis, 2: Bureau of Labor Statistics, 3: U.S. Census Bureau, 4: U.S. Department of Agriculture, 5: Consulate-General of Japan in Chicago

日本との関係

【要人往来】

(往)06年2月、クイン副知事が外務省の招聘プログラムにより訪日。また日米中西部会出席のため、知事または副知事が訪日(07年9月クイン副知事、11年9月及び13年9月クイン知事、17年9月ラウナー知事、19年9月ハインズ副知事、23年9月ストラットン副知事)24年10月、プリツカー知事が経済ミッションのため訪日。

(来)すべてシカゴへの来訪。05年9月末~10月初 常陸宮同妃両殿下が中南米ご訪問の途次にシカゴ御来訪。10年6月 前原国土交通大臣。12年5月 玄葉外務大臣。17年7月 武井外務政務官。18年5月 藺浦総理補佐官及び岡本外務政務官。19年5月 加藤自民党総務会長、プリツカー知事と会談。22年6月 中村農水副大臣。22年9月 山本群馬県知事及び三日月滋賀県知事。23年7-8月 横山大阪市長。24年6月 舞立農林水産政務官。25年5月 鈴木長崎市長。

【文化・広報関係】

シカゴ日米協会が活発に活動(1930年創設)。イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校には東アジア太平洋研究センター、日本館及び日本庭園があり、日本文化関連行事の開催など活発な活動を展開。日本庭園は、平和テラス(シカゴ)、大阪庭園(シカゴ)、アンダーソン日本庭園(ロックフォード)、シカゴ植物園(グレンコー)にもある。2012年の日米桜寄贈100周年記念事業では、シカゴ植物園及びスプリングフィールド市の知事公邸に苗木を寄贈。

【日本人学校・補習校数】

全日校1校(アーリントンハイツ)、補習校2校(アーリントンハイツ、ブルーミントン・ノーマル)

【姉妹都市関係(9)】

旭川市(北海道)ーブルーミントン・ノーマル

所沢市(埼玉県)ーディケイター 大阪市(大阪府)ーシカゴ

胎内市(旧中条町)(新潟県)ーカーボンデール

宮崎市(旧清武町)(宮崎県)ーウォーキーガン

足利市(栃木県)ースプリングフィールド

滑川市(富山県)ーシャンバーグ 蟹江町(愛知県)ーマリオン

大桑村(長野県)ーシェルビービル

【国際交流基金米国若手日本語教員】

若林里歩(~2027年7月: ロックポート・タウンシップ高校派遣)